



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社  
 コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) IRグループマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 藤井 政志  
 (氏名) たき澤 諭

TEL 03-3283-5041

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	160,036	—	14,616	—	18,505	—	14,352	—
2021年3月期第1四半期	133,515	△11.7	7,948	△9.6	10,149	97.4	6,831	90.5

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 16,915百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 9,383百万円 (252.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	69.00	—
2021年3月期第1四半期	32.85	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	843,522	592,399	63.2
2021年3月期	836,364	581,411	62.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 533,147百万円 2021年3月期 524,264百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	45.00	—	35.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期中間配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	330,000	—	24,000	—	31,000	—	23,000	110.56
通期	660,000	—	50,000	—	61,000	—	45,000	216.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	225,739,199 株	2021年3月期	225,739,199 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2022年3月期1Q	17,726,802 株	2021年3月期	17,726,057 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	208,012,787 株	2021年3月期1Q	207,980,412 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	11
2022年3月期第1四半期決算概要	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

そのため、当第1四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、前第1四半期連結累計期間と比較しての増減額及び前年同期比（%）を記載せずに説明しております。

詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及などによる持ち直しの動きが広がりつつあるものの、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルスの影響を受けた自動車分野等の需要が回復したほか、半導体向け製品の需要も市場拡大に伴って堅調に推移しました。加えて、メタノール、高純度イソフタル酸等の汎用製品の市況も上昇しました。

なお、当社グループは、2021年度よりスタートした新中期経営計画「Grow UP 2023」のもと、「環境変化に強い収益構造への転換」を目指し、「競争優位（“差異化”）事業の更なる強化」、「新規事業の創出と育成の加速」、「不採算事業の見直し・再構築」の施策による事業ポートフォリオ改革を推進してまいります。

当社グループの売上高は、メタノール等の市況上昇や、全般的な販売数量の回復などにより、増収となりました。

営業利益は、原燃料価格の上昇や、光学樹脂ポリマーの販売数量減少などの減益要因があったものの、新型コロナウイルスで影響を受けた製品の需要回復や、汎用製品の市況上昇などにより、増益となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、エンジニアリングプラスチック関連会社を中心に持分法利益が増加したことなどから、増益となりました。

以上の結果、売上高1,600億円（前年同期は1,335億円）、営業利益146億円（前年同期は79億円）、持分法利益30億円（前年同期は13億円）、経常利益185億円（前年同期は101億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益143億円（前年同期は68億円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### 〔基礎化学品〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ大幅に上昇したことなどから、増収増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、原料価格の上昇があったものの、ネオペンチルグリコールの市況上昇などにより、増収増益となりました。

ハイパフォーマンスプロダクツ※1は、新型コロナウイルスの影響を受けたメタキシレンジアミン(MXDA)の需要が回復し、販売数量が増加したことなどから、増収増益となりました。

※1 MXDA、MXナイロン、芳香族アルデヒド等、旧特殊芳香族化学品の製品群

キシレン分離/誘導品※2は、高純度イソフタル酸(PIA)の市況が上昇したことなどにより、増収増益となりました。

※2 メタキシレン、PIA等、旧汎用芳香族化学品の製品群

発泡プラスチック事業は、原燃料価格の上昇があったものの、自動車向け材料等の販売数量が回復したことなどから、増収増益となりました。

以上の結果、売上高932億円（前年同期は721億円）、営業利益81億円（前年同期は8億円）、経常利益94億円（前年同期は17億円）となりました。

## 〔機能化学品〕

無機化学品は、半導体向け薬液の販売数量が増加したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。

エンジニアリングプラスチックは、原燃料価格が上昇したものの、自動車分野を中心に販売数量が回復したことに加え、販売価格の上昇もあり、増収増益となりました。

光学材料は、昨年末から顕在化した顧客の在庫調整局面の長期化などにより、光学樹脂ポリマーの販売数量が減少したことなどから、大幅な減収減益となりました。

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料において、PC関連機器や家電など幅広い分野で使用される汎用材料の需要が高まっていることに加え、メモリーや5Gスマートフォン向けも堅調に推移したことなどから、増収増益となりました。

「エーゼレス®」等の脱酸素剤は、国内食品向けの回復等により、新型コロナウイルスの影響を受けた前年同期を上回る損益となりました。

以上の結果、売上高667億円（前年同期は612億円）、営業利益74億円（前年同期は76億円）、経常利益96億円（前年同期は84億円）となりました。

## 〔その他の事業〕

その他の事業の売上高は0億円、営業損失は0億円、経常損失は0億円となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて71億円増加の8,435億円となりました。

流動資産は、46億円減少の3,975億円となりました。減少の要因は、現金及び預金の減少などです。

固定資産は、117億円増加の4,460億円となりました。増加の要因は、建物及び構築物（純額）の増加などです。

負債は、38億円減少の2,511億円となりました。流動負債は、短期借入金の減少などにより47億円減少しました。固定負債は、退職給付に係る負債の増加などにより9億円増加しました。

純資産は、109億円増加の5,923億円となりました。増加の要因は、利益剰余金の増加などです。

この結果、自己資本比率は63.2%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2021年5月11日に公表しました2022年3月期の連結業績予想などを修正しておりますので、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当予想の修正に関するお知らせ（創立50周年記念配当）」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	101,785	89,594
受取手形及び売掛金	159,018	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	154,081
有価証券	269	254
商品及び製品	63,887	68,858
仕掛品	13,242	15,593
原材料及び貯蔵品	44,145	48,448
その他	20,209	21,107
貸倒引当金	△416	△426
流動資産合計	402,141	397,510
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	92,274	95,897
機械装置及び運搬具(純額)	81,113	80,451
その他(純額)	76,543	81,476
有形固定資産合計	249,931	257,824
<b>無形固定資産</b>		
のれん	4,914	5,121
その他	5,584	5,809
無形固定資産合計	10,499	10,930
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	158,718	162,136
その他	15,619	15,678
貸倒引当金	△545	△556
投資その他の資産合計	173,792	177,257
固定資産合計	434,223	446,012
資産合計	836,364	843,522

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,308	78,707
短期借入金	40,087	36,689
未払法人税等	5,809	4,832
引当金	6,373	3,933
その他	40,368	39,051
流動負債合計	167,947	163,214
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	36,202	35,610
引当金	1,517	1,345
退職給付に係る負債	7,150	7,826
資産除去債務	5,113	5,038
その他	17,022	18,086
固定負債合計	87,006	87,907
負債合計	254,953	251,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	34,301	34,310
利益剰余金	459,790	467,902
自己株式	△21,562	△21,564
株主資本合計	514,499	522,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,419	13,071
繰延ヘッジ損益	△618	△850
為替換算調整勘定	△3,542	△1,034
退職給付に係る調整累計額	△494	△658
その他の包括利益累計額合計	9,765	10,528
非支配株主持分	57,146	59,251
純資産合計	581,411	592,399
負債純資産合計	836,364	843,522

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	133,515	160,036
売上原価	102,798	120,487
売上総利益	30,717	39,548
販売費及び一般管理費	22,768	24,931
営業利益	7,948	14,616
営業外収益		
受取利息	101	78
受取配当金	1,088	1,112
持分法による投資利益	1,321	3,062
その他	815	796
営業外収益合計	3,327	5,049
営業外費用		
支払利息	195	201
出向者労務費差額負担	348	356
その他	582	602
営業外費用合計	1,126	1,160
経常利益	10,149	18,505
特別利益		
段階取得に係る差益	—	796
受取保険金	—	744
投資有価証券売却益	—	527
固定資産売却益	257	—
特別利益合計	257	2,067
特別損失		
火災による損失	—	127
減損損失	—	105
投資有価証券売却損	135	—
特別損失合計	135	233
税金等調整前四半期純利益	10,271	20,339
法人税等	2,848	5,006
四半期純利益	7,423	15,333
非支配株主に帰属する四半期純利益	591	980
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,831	14,352



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	7,423	15,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,610	△1,370
繰延ヘッジ損益	△3	15
為替換算調整勘定	△1,493	2,411
退職給付に係る調整額	68	△87
持分法適用会社に対する持分相当額	△220	613
その他の包括利益合計	1,960	1,581
四半期包括利益	9,383	16,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,494	15,143
非支配株主に係る四半期包括利益	△111	1,771

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し義務を負っている有償支給取引について、従来は支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、支給品の譲渡に係る収益を認識せず、当該支給品の消滅も認識しない方法に変更しております。

また、顧客への商品等の販売における当社グループの役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当該対価の総額から商品等の仕入先への支払額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は8,060百万円、売上原価は7,980百万円、販売費及び一般管理費は17百万円それぞれ減少し、営業利益は62百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は57百万円それぞれ減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は50百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより、その他有価証券のうち時価のある株式については、従来、決算日前1ヶ月の市場価格等の平均に基づく時価法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、決算日の市場価格等に基づく時価法に変更しております。なお、当第1四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	72,148	61,263	103	—	133,515
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,801	1,085	5	△5,892	—
計	76,949	62,349	109	△5,892	133,515
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	1,766	8,466	148	△231	10,149

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△231百万円は、セグメント間取引消去65百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△296百万円であります。

全社費用等は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品 事業部門	機能化学品 事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	93,255	66,713	66	0	160,036
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,326	21	3	△1,351	—
計	94,582	66,734	70	△1,351	160,036
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	9,418	9,672	△13	△572	18,505

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△572百万円は、セグメント間取引消去△25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△546百万円であります。

全社費用等は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能化学品事業部門」において105百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「基礎化学品事業部門」において、(株)J-ケミカルの子会社を取得し連結子会社化したことにより、292百万円のれんが発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、「その他の事業」に含まれていたエネルギー等に関連する事業を「基礎化学品事業部門」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(会計方針の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「基礎化学品事業部門」の外部顧客への売上高が3,125百万円減少、セグメント利益が29百万円減少し、「機能化学品事業部門」の外部顧客への売上高が4,932百万円減少、セグメント利益が16百万円減少し、「その他の事業」の外部顧客への売上高が2百万円減少し、「調整額」のセグメント損失が11百万円増加しております。

## 3. その他

## 2022年3月期 第1四半期決算概要

## ①連結経営成績

(単位:億円)

	2021年3月期 第1四半期※	2022年3月期 第1四半期	増減額	2021年3月期 通期実績※	2022年3月期 上期予想	2022年3月期 通期予想
売上高	1,335	1,600	265	5,957	3,300	6,600
基礎化学品	769	945	176	3,378	1,945	3,902
機能化学品	623	667	43	2,678	1,379	2,745
その他の事業及び調整額	△57	△12	45	△99	△24	△47
営業利益	79	146	66	445	240	500
基礎化学品	8	81	72	128	114	203
機能化学品	76	74	△2	348	145	335
その他の事業及び調整額	△5	△9	△3	△31	△20	△39
営業外損益	22	38	16	57	70	110
経常利益	101	185	83	502	310	610
基礎化学品	17	94	76	142	139	257
機能化学品	84	96	12	375	186	387
その他の事業及び調整額	△0	△5	△5	△15	△16	△34
特別損益	1	18	17	△12	0	△10
税金等調整前当期(四半期)純利益	102	203	100	489	310	600
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	68	143	75	360	230	450
1株当たり当期(四半期)純利益	32.85円	69.00円	36.15円	173.41円	110.56円	216.31円

2022年3月期 第1四半期 連結範囲 連結子会社 71社 持分法適用会社 15社

## 【ご参考：旧セグメント別】

	2021年3月期 第1四半期※	2022年3月期 第1四半期	増減額	2021年3月期 通期実績※	2022年3月期 上期予想	2022年3月期 通期予想
売上高	1,335	1,600	265	5,957	3,300	6,600
天然ガス系化学品事業	335	471	136	1,585	973	1,953
芳香族化学品事業	434	482	47	1,834	987	1,980
機能化学品事業	471	491	20	2,074	1,028	2,089
特殊機能材事業	152	176	24	623	351	657
その他の事業及び調整額	△57	△21	36	△160	△41	△81
営業利益	79	146	66	445	240	500
天然ガス系化学品事業	△15	25	41	9	29	55
芳香族化学品事業	24	55	31	117	85	147
機能化学品事業	51	30	△20	228	64	193
特殊機能材事業	25	44	18	119	81	142
その他の事業及び調整額	△5	△9	△3	△30	△19	△38
営業外損益	22	38	16	57	70	110
経常利益	101	185	83	502	310	610
天然ガス系化学品事業	△6	37	43	26	53	109
芳香族化学品事業	23	56	33	116	86	147
機能化学品事業	57	49	△8	255	99	240
特殊機能材事業	26	47	20	119	86	147
その他の事業及び調整額	△0	△6	△5	△15	△16	△34

旧セグメント別の内訳は、便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

※ 2022年3月期より、一部製品のセグメント変更を行っております。前年度のセグメント情報についても変更後の区分方法により作成しております。

## ②営業外損益項目及び特別損益項目

## 営業外損益項目

(単位:億円)

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減額	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 上期予想	2022年3月期 通期予想
持分法による投資損益	13	30	17	51	69	128
金融収支	9	9	△ 0	19		
為替差損益	△ 0	△ 0	0	8	0	△ 18
その他	△ 0	△ 1	△ 0	△ 22		
<b>営業外損益合計</b>	<b>22</b>	<b>38</b>	<b>16</b>	<b>57</b>	<b>70</b>	<b>110</b>

## 特別損益項目

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減額	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 上期予想	2022年3月期 通期予想
段階取得に係る差益	—	7	7	—		
受取保険金	—	7	7	—		
投資有価証券売却益	—	5	5	18		
固定資産売却益	2	—	△ 2	2		
受取補償金	—	—	—	1		
補助金収入	—	—	—	1		
火災による損失	—	△ 1	△ 1	—		
減損損失	—	△ 1	△ 1	△ 16		
投資有価証券売却損	△ 1	—	1	—		
子会社における送金詐欺損失	—	—	—	△ 9		
損害補償損失	—	—	—	△ 3		
事業撤退損	—	—	—	△ 2		
子会社整理損	—	—	—	△ 2		
投資有価証券評価損	—	—	—	△ 1		
<b>特別損益合計</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>17</b>	<b>△ 12</b>	<b>0</b>	<b>△ 10</b>

## ③連結財政状態

(単位:億円)

	2021年3月期末	2022年3月期 第1四半期末	増減額
流動資産	4,021	3,975	△ 46
有形・無形固定資産	2,604	2,687	83
投資その他の資産	1,737	1,772	34
資産合計	8,363	8,435	71
有利子負債	984	945	△ 39
その他負債	1,564	1,565	0
負債合計	2,549	2,511	△ 38
株主資本	5,144	5,226	81
その他の包括利益累計額	97	105	7
非支配株主持分	571	592	21
純資産合計	5,814	5,923	109
負債純資産合計	8,363	8,435	71

## ④各種指標推移(連結)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想
設備投資額(億円)	309	392	423	402	700
(うち第1四半期累計)	61	91	115	87	115
減価償却費(億円)	270	274	295	306	330
(うち第1四半期累計)	64	67	71	75	78
研究開発費(億円)	189	186	196	199	225
(うち第1四半期累計)	45	45	45	47	49
期末人員数(人)	8,009	8,276	8,954	8,998	10,091
ROA(総資産経常利益率)	10.6%	8.7%	3.9%	6.2%	7.2%
ROE(自己資本利益率)	13.6%	11.3%	4.3%	7.1%	8.5%
ROIC(投下資本利益率)※1	13.2%	10.9%	4.9%	7.7%	8.8%
1株当たり配当金	59.0円	70.0円	70.0円	70.0円	80.0円※2
(うち第2四半期末)	24.0円	35.0円	35.0円	35.0円	45.0円※2

※1 ROIC(投下資本利益率) = 経常利益/投下資本

※2 記念配当10.0円を含む

## ⑤為替・市況前提

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	実績		実績		実績		実績		予想	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
平均為替レート(JPY/US\$)	111	111	110	112	109	109	107	105	109	108
平均為替レート(JPY/EUR)	126	133	130	127	121	120	121	126	131	130
原油価格(Dubai) (US\$/BBL)	50	62	73	65	64	56	37	52	71	75
メタノール(US\$/MT) (アジアスポット平均価格)	296	381	408	335	277	245	194	319	349	320
原料キシレン (US\$/MT)	650	725	845	730	705	640	420	560	780	785
ビスフェノールA ※ (US\$/MT)	1,100 ~1,300	1,200 ~1,700	1,600 ~1,900	1,200 ~1,800	1,000 ~1,450	1,050 ~1,350	900 ~1,450	1,400 ~3,300	2,000 ~3,700	1,700 ~3,700
ポリカーポネート ※ (US\$/MT)	2,500 ~2,900	2,900 ~3,900	2,700 ~3,800	2,100 ~2,800	1,900 ~2,250	1,650 ~2,000	1,500 ~2,150	2,100 ~4,000	2,500 ~4,100	2,200 ~4,000

※ 期間中の最小値および最大値を表記しております。